

# 新SDGs論

現状・歴史そして未来をとらえる

田中 治彦〈著〉

四六判並製 192頁 定価 2,090円  
ISBN：978-4-910917-11-5 [本体 1,900円 + 税 10%]

## 【著者紹介】

田中 治彦 (たなか はるひこ)  
上智大学名誉教授、(認定NPO)開発教育協会監事、龍ヶ崎市長上位計画策定審議会副会長。

主な著書『SDGsと開発教育』『SDGsとまちづくり』『SDGsカリキュラムの創造』(学文社)、『グローバル時代の「開発」を考える』『18歳成人社会ハンドブック』(明石書店)、『成人式とは何か』(岩波書店)ほか。



## 【目次】

### 第一部 SDGsのルーツを探る

- 第1章 SDGs(持続可能な開発目標)とは何か?
- 第2章 持続可能な開発(SD)とは何か?
- 第3章 ミレニアム開発目標(MDGs)
- 第4章 ESD・地球市民教育

### 第二部 グローバル課題の戦後史

- 第5章 戦後4つのグローバル課題
- 第6章 南北問題—開発と援助
- 第7章 環境問題—公害と熱帯林
- 第8章 人権問題—「誰一人取り残さない」
- 第9章 東西問題—核と平和

### 第三部 SDGsの未来

- 第10章 2030年以降のグローバル課題
- 第11章 SDGsを「自分事」に  
〈SDGs・グローバル課題関連年表〉

2023年はSDGsの中間年であり、2024年から後半戦となる。SDGsの周知度が9割に達した今、SDGsの啓発の時代は終わり、今後はSDGsを具体的に推進する時期にあたる。そのためには表層的ではなく、その問題の歴史的な意義に立ち返って考え、理解と行動に移していくことが求められる。

本書の副題に〈現状・歴史そして未来をとらえる〉とあるように、第一部ではSDGsの前身となる地球サミット以来のSDの考え方や具体的な対策の変遷をふまえた2023年の「現状」について解説する、第二部ではSDGsに至るまでの「歴史」についてさらに深掘りする、第三部では2030年以降のグローバル課題がどのように変わっていくのかの「未来」を展望する。

2016年に日本で最初のSDGs本を書いた著者が、持続可能な社会を目指す人々に向けてSDGsにかかわるすべてを整理してわかりやすく論じた必読書。

本書のお求めは最寄りの書店・ネット書店または人言洞ウェブサイトからどうぞ。

【<https://www.ningendo.net/order>】



人言洞  
NinGenDo

TEL：045-352-8675 FAX：045-352-8685

E-mail：info@ningendo.net Web：https://www.ningendo.net